

2018年10月
1149号

万葉

Manyoh

一冊の会 編集部

〒160-0015 東京都新宿区大京町5
(一冊の会研究室)

2021年のFAWA日本総会大成功へ向けて 新たな出発、新しい世界へ共に飛翔！

秋が深くなり、寒さを感じ始めた10月14日、9月26-30日にフィリピンで行われたアジア太平洋女性連盟(FAWA)60周年、23回目の総会に参画し、ひと周りもふた周りも成長したメンバーが勢揃い。お留守番組メンバーと共に大成功を分かち合う櫻華塾が開催されました。

10月4日は一冊の会が友好協会を創設したレソト王国独立記念日です。1966年英国から独立したレソト王国ですが、エイズの死亡率が非常に高かった為、2008年一冊の会は、日本レソト王国友好協会を発足。昨年の10月4日は協会発足10周年を祝うレセプションを、ここ憲政記念館で開催しました。

FAWAの他、日本レソト王国友好協会、日本タンザニア共和国友好協会と国際活動を継続している一冊の会の大槻会長がこの度FAWAインターナショナル会長に就任。2021年のFAWAは日本の東京で開催すると先日のFAWAフィリピン総会で決定されたことが小山副会長から発表され、一同感激の拍手！一冊の会は2021年に向けた新たな一歩を歩みます。

FAWAフィリピン総会の総括 - 三坂一冊の会FAWA事務局長より

9月26-30日にマニラで開催されたFAWA総会について、三坂一冊の会FAWA事務局長からの報告です。スライドを使いながら4日間に亘るメンバーの雄姿を報告です。今回は60周年にちなんで、60個のダイヤモンドをモチーフとした総会のプログラムを作成。プログラムにはフィリピンのドゥトルテ大統領、レニー副大統領の次に、高木美智代厚生労働副大臣からの挨拶が掲載されました。日本の女性活動を主導される一人として高木先生の挨拶が真っ先に登場する等、日本代表団を率いている大槻会長の尽力に皆で再度感謝致しました。

そして60周年の今年、常任理事国(グアム、日本、フィリピン、シンガポール、韓国、台湾)以外に香港・マレーシア・インドネシア等が活発に参加して下さったのが印象的で、また一冊の会では大槻会長・先輩のご支援の元、前々から若手にステージを与えて参りましたが、常任理事国の多くの団体で若手が活躍をされ、次世代への襁褓しがしっかり行われていると感じました。閉会式では大槻明子会長がFAWAインターナショナル会長に就任されました。2021年のFAWA総会は日本の東京で開催されます。

FAWAメンバーのみならず、世界各国から有識者はじめ、次世代を担うNPO/NGO等、皆に参画して頂き、大成功を収められるように、今から心ひとつに皆で活動して参りましょう！(FAWA総会の内容は万葉1147号に掲載しております)

「2021年FAWA日本総会は皆さん一人ひとりが主役です」と小山副会長。それぞれがどんな立場で頑張っていくか、各々が考えましょう。小山副会長からは、本日の櫻華塾は欠席でしたが、FAWAの留守組として日本で支えて下さった会員より2007年初めて一冊の会が参画したFAWA日本総会からメンバーとして支えて下さっている三坂一冊の会FAWA事務局長に石鹸で作られたバラの花の素敵な花を贈呈。香りも一緒に届けました。2021年は大槻会長を中心に、石田理事長の大きな支柱に支えられ、皆さんの手で創り上げて参りましょう！



相馬雪香先生と FAWA 2016 年 9 月 11 日と題して石田理事長の執筆された文を赤田研究員が代読

尾崎行雄の三女相馬雪香先生は 1950 年、スイスで開催された国際会議に出席。そこでフィリピンの上院議員ペクソン女史と出会います。かつて日本がフィリピンを占領していた頃、まだ若い娘さんだった女史は、1950 年に一冊の会永久最高顧問相馬雪香先生とフィリピンのペクソン女史が語り合ったのが FAWA の始まりです。FAWA は各国・地域で 2 年ごとに国際会議を持ち回りで開催されています。

2021 年 FAWA は日本で開催されます。一冊の会と IEO がホストです。相馬先生の遺志を継いだ多くの仲間たちが、相馬先生のお言葉を胸に、「出来ることから始めています」。

大槻会長より、FAWA フィリピンの総括と 2021 年に向けて

今回の FAWA フィリピン総会では、韓国・台湾の女性団体の代表の方々より、「もっと一冊の会の活動を詳しく知りたい」と、通訳者を自国から連れて来て大槻会長のテーブルにいらしたとのこと。言葉の壁もなく、一冊の会の活動を知り、持続的な活動を行っている被災地支援の話に真剣に耳を傾け、国境を越えて災害支援について大いに語り合ったとのこと。阪神淡路大震災・中越地震・スマトラ沖地震・東日本大震災と活動し続ける大槻会長の話を聞き、「テレビで知ったことと違う」と皆驚かれたそうです。一冊の会の東北被災地支援活動は 125 回を数えます。全ての支援活動を一番先頭に立ち被災者と心を分かち合い、被災者に寄り添ってきた大槻会長ならではの現場の真実の声を聴き、一同大変衝撃を受けると共に、一冊の会の持続可能な支援活動を大いに評価して下さったとのこと。私たちは常に大槻会長より「真心は人の心を動かす」と指導を受けております。災害時だけではありません。相手が困っている時、自分に何が出来るか考え行動する、それが日本の歴史の誇る「おもてなし」の精神です。FAWA 総会では、当日会議に参加が出来なくとも軸装を贈呈して下さった平間研究員や、核兵器廃絶を訴え、No Nuclear Weapon と書かれた参加者へ配布したポケットティッシュケースを作成して下さった横山メンバー、若手研究員の皆さんを筆頭に多くの方々の支援があってこその大成功でした、と心からの感謝の言葉が大槻会長からメンバー全員にありました。一冊の会には親善大使が 6 団体あります。2021 年の FAWA は世界に対しての最高のおもてなしをして参りましょう！

最後に石田理事長からは、日本代表団としての一冊の会が、テーマに沿って各々が真剣に向き合ったからこそ今回の FAWA フィリピン総会は大成功したということ、そして更に 2021 年に向けて一人一人が自分に何が出来るかを考え主体的に動くこと、それが大成功への一歩であるとお話がありました。『人生の本舞台は常に将来にあり』尾崎弔堂先生の箴言です。2021 年の FAWA への挑戦はもう始まっています。相馬雪香さんが立ち上げた FAWA に一冊の会が携わっている。日本で開催される FAWA で、会場に相馬雪香さんの写真を飾って、経歴を説明するだけでは意味が無い、相馬雪香さんの精神を自分のものとして、FAWA を国内外へ発信していく、理解を深めてもらうのが大事なのです。そして女性の権利や女性の活躍を真剣に考え、本気で取り組み、2021 年の総会で世界へ発信しましょう！



2018 年のフィリピン総会に参画したメンバーは国際会議への参加を通じて確実に成長をしております。参画出来なかったメンバーも社会における女性の役割や、平和にかける思いは同じです。一同心をつにして、さあ、今日から共に 2021 年に向けて華々しいスタートを切りましょう！

文責：平間・城杉一冊の会研究員